

能の出演者 Performer of Noh

1 シテ 物語の主役です。演出も行います。 2 ワキ シテの相手役です。 3 後見 舞台の監督役です。

4 地謡 謡のうち、シテやワキのセリフ以外の情景や心情を描いた部分を担当します。 5 囃子方 舞台上で楽器を演奏します。

アイ… 能の前後場の間をつなぐ狂言をアイ(間狂言)と呼びます。



6m四方の本舞台には檜板が縦に張られています

楽しく観る 3つのポイント Three points for enjoy

- 1 初めてや久しぶりに観る方には、正面の席がおすすめ!  
※人気の演目は開演30分前から並んでいることもあります。
- 2 事前にあらすじを理解しておくど、より舞台を楽しめます!  
※当日はあらすじを配布します。また、県立能楽堂のホームページでも事前にあらすじを確認することができます。
- 3 眠くなったら、雰囲気を感じながら眠るのも一つの方法!  
※後半のクライマックスは必見。

皆さまの声 /

- こんな文化(舞台表現)があるのだと初めて知った。
- 能舞台が凛としていて美しい!
- タイムスリップしたような雰囲気にハマりました。
- 本物の能をこんなに気軽に観られるなんて、石川県民は恵まれている!

開演前に! 能楽体験

「観能の夕べ」をよりお楽しみいただくため、開演前に演目に関する体験を実施します。



開催日	内容	講師
1月11日(土)	囃子体験	住駒 俊介、江野 泉
1月25日(土)	仕舞体験	高橋 憲正、佐野 弘宜
2月 1日(土)	仕舞体験	佐野 玄宜、藪 克徳
2月 8日(土)	囃子体験	飯嶋 六之丞、妻谷 暁夫
2月29日(土)	狂言体験	炭 光太郎、清水 宗治

■体験内容  
 ・公演する演目の謡・仕舞、囃子、狂言の体験  
 ※講師の先生により、体験の内容が変更します。  
 ※体験には白足袋を使用します。お持ちの方はご持参ください。  
 ・時間:各回13:00~(40分程度) 12:30~受付開始  
 ・定員:20名程度/回(要事前申込・先着順)  
 ・料金:無料(当日の鑑賞者に限りです)  
 ■お申し込み・お問い合わせ  
 県立能楽堂 TEL.076-264-2598



金沢駅兼六園口(東口)6番のりば 兼六園シャトルバス 県立美術館・成巽閣バス停より徒歩1分/7番のりば 北鉄バス 出羽町バス停より徒歩3分

※駐車場は数に限りがございますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。



世界無形文化遺産 能楽

K a g a  
H o s h o  
N o h  
T h e a t e r

神・男・女・狂・鬼  
五番立て魅せる冬の能舞台

# 冬の観能の夕

各公演  
 前売 1,000円  
 当日 1,200円

各回解説付き

※いずれも高校生以下無料  
 ※満席の場合、ご入場いただけない場合がございます。

チケットのお求め 石川県立能楽堂、石川県音楽堂チケットボックス(076-232-8632)、金沢能楽美術館(076-220-2790)、香林坊大和プレイガイド(076-220-1332)、e+(イープラス)http://eplus.jp/(パソコン・携帯)

全5回  
 2020 1/11(土) 2/29(土)  
 ※詳しい日程は中面をご覧ください。  
 14:30開演(14:00開場) 16時30分頃終了予定

主催/いしかわの伝統文化活性化実行委員会

会場・お問い合わせ 石川県立能楽堂 TEL&FAX 076-264-2598 〒920-0935 金沢市石引4-18-3

金沢能楽美術館 関連行事

「冬の観能の夕べ プレ講座(全2回)」 参加無料(要観覧料、要申込)

金沢能楽界の人気能楽師が、見どころを分かりやすく紹介します。

第1回	第2回
1/11(土) 10:30~11:30 1/11・1/25の演目解説 講師:佐野 弘宜	2/1(土) 10:30~11:30 2/1・2/8・2/29の演目解説 講師:波邊 茂人

※上記の内容は都合により変更になる場合がございます。  
 ※詳しくは金沢能楽美術館のホームページをご覧ください。

■お申し込み・お問い合わせ 金沢能楽美術館 金沢市広坂1丁目2番25号 TEL.076-220-2790 10:00~18:00(入館17:30まで) 月曜休館(祝日の場合は翌平日休館)



いしかわ子ども文化センター(金沢市) 出羽町(金沢市) 対談事業 令和5年度日本博を契機とする文化資源コンテンツ創生事業

# 能が魅せる5つの顔

## 能の正式な上演形式“翁付五番立”

能が「武家の式楽（儀式用の公式な芸能）」となった江戸時代には、「能にして能にあらず」といわれる特別な曲「翁」に続き、能を役柄や曲趣によって5つのジャンルに分け順に演ずる「五番立」を行う「翁付五番立」が正式な上演形式となりました。

冬の観能の夕べでは、特別な曲である「翁」は行いませんが、毎回各ジャンルから1曲を上演し、全5回の公演で「五番立」を行います。



### 能とは What's Noh?

能は、継承されている演劇としては「世界最古」といわれる日本独自の舞台芸術で、日本で最初にユネスコ（世界無形文化遺産）に登録された世界が認める伝統芸能です。笛や鼓による演奏と地謡と呼ばれるコーラス隊の謡にあわせて、舞台上の人物が舞いながら物語を展開します。

### 加賀宝生 Kaga Hosho

金沢の能楽は、加賀藩前田家が武家の式楽として、能の宝生流（5流派の1つ）を手厚く保護・育成し、庶民にも広く推奨したことから、今では金沢といえば「加賀宝生」と言われるほど、独自の発展を遂げています。

石川県立能楽堂H.P. <https://noh-theater.jp/>



### 一番目

1/11<sub>土</sub>

解説／村戸 弥生  
(金沢美術工芸大学非常勤講師)

神様を主人公とする能。世の中の平和を祝うための演目が多い。

〈仕舞〉<sup>あみのだん</sup>網ノ段 松田 若子 〈狂言〉<sup>みずかけむこ</sup>水掛髻 炭 光太郎  
〈能〉<sup>いわふね</sup>岩 船 木谷 哲也

岩船／帝の命を受け、高麗や唐土の宝を集めていた勅使は、一人の童子と出会う。童子は帝への捧げ物として宝珠を捧げ、天の岩船が漕ぎ寄せてくると伝える。童子こそ岩船の漕ぎ手天の探女であった。やがて岩船を守護する龍神が現れ、天の探女と協力して岩船を引き、八大龍王の力も得て、金銀珠玉を積み上げる。



### 二番目

1/25<sub>土</sub>

解説／山内 麻衣子  
(金沢能楽美術館学芸員)

男性を主人公とする能。源平の武将の霊を主人公とする演目が多い。

〈仕舞〉<sup>おおえやま</sup>大江山 島村 明宏 〈狂言〉<sup>うおせっぽう</sup>魚説法 吉川 真生  
〈能〉<sup>ともえ</sup>巴 葛野 りさ

巴／都へ向かう旅の途中、僧は神社の前で涙する女と出会う。女は神社の祭神が木曾義仲であると教え供養を勧め消える。僧が弔いを始めると、武者姿の女が現れ、自分は義仲に仕えた巴の霊であると明かし、義仲の最期や奮戦の有様、女であるが故に最期の供を許されなかった無念を語り去って行く。

※男性を主人公とする二番目物(男)の中で、唯一女武者が主人公となる能。戦いの場面であっても女性らしい華やかさが感じられます。



### 三番目

2/1<sub>土</sub>

解説／杉山 欣也  
(金沢大学人間社会科学研究域教授)

女性を主人公とする能。女性の霊が恋愛に苦悩する演目が多い。

〈仕舞〉<sup>か</sup>加 茂 高橋 憲正 〈狂言〉<sup>にくじゅうはち</sup>二九十八 中尾 史生  
〈能〉<sup>は</sup>半 蔀 佐野 弘宜

半蔀／花供養する僧の前に若い女が現れ、夕顔の花を捧げて消える。近くに住む者から光源氏と夕顔の物語を聞いた僧が女の言葉に従い五条あたりに赴くと、夕顔の霊が現れる。夕顔は光源氏との思い出を語り、夜が明ける前に消えていく。



### 四番目

2/8<sub>土</sub>

解説／佐々木 香織  
(石川工業高等専門学校准教授)

物狂いが主人公の能を中心に、他のジャンルに入らないものも含む。劇的な演目が多く、初心者におすすめ。

〈仕舞〉<sup>の</sup>野 宮 渡邊 茂人 〈狂言〉<sup>ふるやまぶし</sup>梟山伏 炭 哲男  
〈能〉<sup>あ</sup>阿 漕 藪 克徳

阿漕／旅の途中の僧は阿漕が浦で年老いた漁師に出会う。老人は漁師・阿漕が禁漁区で密漁を行い海に沈められたという浦の謂われを語り、姿を消す。不憫に思った僧が弔いを行っている時、阿漕の亡霊が現れ、地獄でなお網を引き続け、悪魚に身を苛まれ続ける苦しみを訴え、助けを求めながら海に沈んでいく。

※五番目(鬼)でもある演目です。



### 五番目

2/29<sub>土</sub>

解説／村戸 弥生  
(金沢美術工芸大学非常勤講師)

鬼や天狗などこの世ならぬ存在が登場する能。演出が派手な演目も多く、こちらも初心者におすすめ。

〈仕舞〉<sup>つね</sup>経 政 福岡 聡子 〈狂言〉<sup>がん だいみょう</sup>雁大名 炭 光太郎  
〈能〉<sup>あおいの</sup>葵 上 佐野 玄宜

葵上／光源氏の正妻、葵上を呪う六条御息所の生霊。梓弓の音で霊を呼ぶ「梓の法」に引かれ姿を現し、在りし日の栄華を語るうちに嫉妬に駆られ、葵上を打ち据えようとする。葵上の病状の急変に、呼ばれた比叡山の僧横川小聖が祈祷し、般若となった御息所を調伏する。

※四番目(狂)でもある演目です。

